

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小川晃
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3622
<b>事務事業名</b>	4306 文化活動振興事業											
<b>所 属</b>	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課											
<b>施 策</b>	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費										
	<b>事業</b>	030000 文化活動振興事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化芸術振興ビジョン」の具体化</li> <li>・信州岩波講座の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> </ul>						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化芸術振興ビジョン」の具現化</li> <li>・「第17回信州岩波講座2015」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第18回信州岩波講座2016」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> <li>・フローラルスプリングコンサートvol2、公共ホール音楽活性化事業の実施</li> </ul>
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第19回信州岩波講座2017」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・子ども読書活動推進計画の見直し</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> <li>・フローラルスプリングコンサートvol. 3の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第20回信州岩波講座2018」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・子ども読書活動推進計画の見直し</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> </ul>
平成31年度 予定	平成32年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第21回信州岩波講座2019」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・子ども読書活動推進計画の見直し</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第21回信州岩波講座2020」の開催</li> <li>・子ども読書活動支援研究会の活動支援</li> <li>・子ども読書活動推進計画の見直し</li> <li>・文化振興事業団が行なう自主事業を支援</li> </ul>

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数				
算式	年間利用者数・入館者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	196,763	197,747	198,736	199,729
	実績	176,483	146,926		200,728
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（187,810）より年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		25,750	26,404
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	664	684
一般財源		25,086	25,720
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	1.4	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,429.8	714.9
	嘱託職員	3,872.4	2,212.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,302.2	2,927.7
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		31,052.2	29,331.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	408	消耗品費108、印刷製本費300
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	22,700	信州岩波講座共催負担金、文化振興事業団自主事業補助金
その他	2,642	役務費35、報酬2,250、共済351

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	22,500	信州岩波講座共催負担金2,500、文化振興事業団自主事業補助金20,000
その他	3,904	嘱託職員報酬2,281、役務費186、共済363、報酬400、旅費126ほか

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民の文化芸術への関心を高め豊かな市民生活を実現するため、自主的な文化芸術活動や優れた芸術鑑賞活動を支援している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	文化振興事業団での自主事業支援、信州岩波講座の開催など継続している。 文化芸術振興の目標設定には、広範な視点が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	文化振興事業団による自主事業内容の検討を進めている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

指定管理者である須坂市文化振興事業団の自主事業の内容を検討する時期に来ている。  
子ども読書活動推進計画の見直しができなかった。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が様々な舞台芸術等に触れる機会の充実を支援する。</li> <li>・子ども読書活動推進を図る第2次子ども読書活動推進計画を策定する。</li> </ul>		市民が様々な文化芸術活動に触れる機会の充実を図り、文化芸術による「人づくり」「まちづくり」を推進する。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	